

令和5年度（総務室）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（法令の遵守、服務規律の徹底）【必須事項】	法令遵守意識をより確固としたものにする。	○ 職場研修（机上研修）において、公務員としての自覚と倫理意識の醸成に努めた。 ○ 法令遵守意識を確固としたものにする事ができ、目標を達成した。
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止【必須事項】	職場のハラスメントの問題について理解を深め、ハラスメントを未然に防止する。	○ 職場研修（机上研修）において、職場のハラスメントに該当する言動例などについて、啓発を行った。 ○ ハラスメントを未然に防止することができ、目標を達成した。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	情報の管理方法を改めて確認し、重要情報の紛失、漏えい等を未然に防止する。	○ 職場研修（机上研修）において、個人情報の取扱いについて、事例紹介等をしながら啓発を行った。 ○ 概ね目標を達成したが、個人情報の不適切な取扱事案が1件発生した。当該事案を受けてマニュアルを改正し周知するなど、再発防止に努めた。
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	職員間の情報共有や相互チェック体制を確立し、業務の遅延やケアレスミスを防止する。	○ 業務スケジュールや役割分担等を共有し、進行管理については相互チェックを徹底するなど、協力して業務に取り組むよう努めた。 ○ 概ね目標を達成したが、予算要求の事務において、グループ間の連絡調整に課題があった。今後の対応として、業務スケジュールを共有し、早期に準備を開始することなどの留意事項を周知し、再発防止に努めた。
財務事務等の適正執行	財務規則等を遵守した適切な事務手続きを徹底する。	○ 複数職員による進行管理を徹底し、適切な履行確認及び物品管理を行うことができ、目標を達成した。
適切な県民対応	県民の信頼に応えるため、「職員一人ひとりが県の顔」としての自覚を持ち、県民の視点に立った丁寧な対応を徹底する。	○ 職場研修（机上研修）において、言葉づかい、電話対応等について、県民の視点に立ち、丁寧に適切な対応を心掛けるよう、周知徹底を行った。 ○ 県民の視点に立った丁寧な対応をすることができ、目標を達成した。

○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題（所属長意見）

- 令和5年度不祥事ゼロプログラムについて、個人情報の不適切な取扱事案が発生したことなどの課題はあったものの、概ね目標を達成することができた。
- 令和6年度は、引き続き職場研修等を通じて職員の法令遵守意識の向上、個人情報等の管理などについて啓発を行うとともに、職員間の情報共有や相互チェックを徹底し、不祥事防止に向けて取り組んでいく。